

インド準備銀行パテル総裁が辞任(2018年12月) ～後任は元財務次官のダス氏～

2018年12月12日

お伝えしたいポイント

・長期的なインド経済の発展に向けて新体制で動き出すインド準備銀行

<長期的なインド経済の発展に向けて新体制で動き出すインド準備銀行>

12月10日(現地、以下同様)にRBI(インド準備銀行)のパテル総裁が辞任を表明しました。RBIが発表した声明文によると、パテル氏の辞任は「個人的な事情」によるものとされていますが、実際は中央銀行とモディ政権の対立がその背景にあるとみられます。

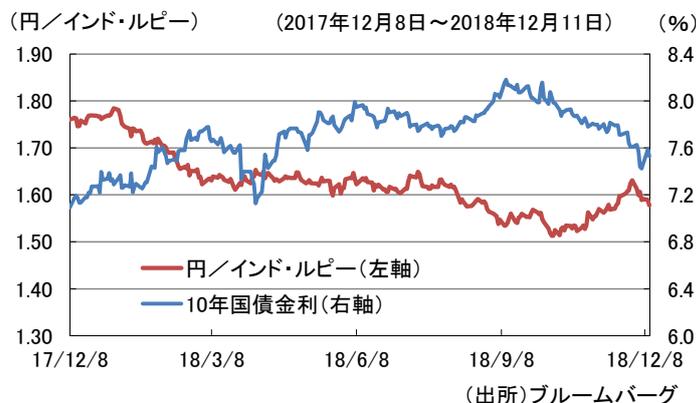
インドでは2018年9月に大手ノンバンクが破綻した後、政府がRBIに対しノンバンクへの支援等を要求したことなどから、RBIは中央銀行の独立性が脅かされていると反発し、対立が深まっていました。また、RBIは2018年に2回の利上げを行っていますが、金融緩和を求める政府はこうしたRBIの姿勢に批判的です。一時は政府が「準備銀行法第7条」を行使して金融政策に介入することを検討していることが報じられ、市場ではパテル氏の辞任観測が浮上していましたが、11月上旬にパテル氏がモディ首相など政府高官と会談し、政府とRBIの関係は修復されたとみられていました。

しかし、こうした中でのパテル氏の突然の辞任発表を受け、市場では今後の金融政策の不透明感が高まり、金利は上昇しインド・ルピーは下落しました。

今後の金融政策については、新しい総裁次第ですが、12月11日に政府は新総裁にダス元財務次官を任命すると発表しました。新総裁に任命されたダス氏はモディ首相に近い人物とみられています。このため市場の一部では、今後の金融政策について、政府からの介入が強まる恐れがあると警戒されています。

当社では、新総裁を迎えるRBIがインド経済の長期的な発展という目的を政府と共有した上で、今後適切な金融政策を推し進めることができるかどうか注目したいと考えています。

《為替と金利の推移》



以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・インド金融政策(2018年8月)～RBIは2会合連続で政策金利を引き上げ～(2018/8/2)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180802_3.html
- ・インド金融政策(2018年6月)～RBIは政策金利を4年半ぶりに引き上げ～(2018/6/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180607_1.html
- ・続報・インドの政治情勢について(2018年5月)～モディ首相率いるインド人民党がカルナータカ州議会選挙で第一党へ躍進～(2018/5/18)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180518_1.html
- ・インドの政治情勢について(2018年5月)～インド下院の総選挙に向けて州議会選挙に注目～(2018/5/11)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180511_1.html
- ・インド出張報告(2018年3月)～高成長を続けるインド経済の「今」～(2018/4/10)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180410_1.html
- ・ムーディーズによるインドの格上げについて(2017年11月)(2017/11/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171120_2.html
- ・インドの金融政策(2017年10月)～主要政策金利を据え置き～(2017/10/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171005_1.html
- ・インド株 足元の下落の背景と今後の見通し(2017/9/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170928_1.html
- ・インド経済はモンスーンの降雨量に恵まれ視界良好(2017/9/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170906_1.html
- ・インドのインフレ動向について～歴史的な低水準の背景と今後の見通し～(2017/9/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>